



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成 29 年 12 月 20 日
No.138

白神山地と赤石溪流の観光を考える会

12月6日（水）鱒ヶ沢町山村振興センターで「白神山地と赤石溪流の観光を考える会」が主催する講演会が開催され、当センターから「世界遺産白神山地の保全活動等について」と題し、所長が講演を行いました。

白神山地が世界遺産に登録された意義、センターが取り組んでいる自然再生活動やシカの日撃情報の収集等の野生動物調査などを説明し、白神山地世界遺産の貴重な自然を後世に伝えるために、保全活動等に取り組んでいることを報告しました。

また、鱒ヶ沢町教育委員会の中田総括学芸員から、鱒ヶ沢町の観光の魅力等について講演があり、鱒ヶ沢町には素晴らしい歴史的資産が数多くあることから、それを生かすことが重要だと報告されました。（寺田）



講演する寺田所長

“総合的な学習の時間”への協力

舞戸小学校4年生の“総合的な学習の時間”の一環で、12月6日（水）に津軽森林管理署職員とともに講師役として小学校を訪問してきました。生徒一人一人が自ら一つテーマを決めて、そのテーマに沿った調査や情報収集を行う授業で、私は『植物・木』について調べている6人と『動物』の情報収集をしている7人、合計13人からの質問に応じました。

彼らとは今年9月8日（金）にも森林教室で顔を合わせていて、私をキノコや虫好きの奇人と覚えていたのでしょうか、教室に入るなり「アーッ！また来てくれた！」と歓迎してくれました。今日は何でも聞いてくれ！と意気込んでみたものの、生徒の質問が多岐に渡りなかなか難しい・・・アオモリマンテマ・ト



・・・鋭い質問・・・

リカブト類・クマガラ・モモンガ・・・「アオダイショウの♂♀はどう見分けるのですか？」

という問いには、外見上は分からないけれど、と前置きしつつ「卵を産む方が早だ！」と珍回答をすると、意外とウケてくれました。

思い返せば私の動植物好きは幼少期から続いています。小学生の頃に好きだった事は大人になっても変わらず好きでいるものです。だからこそ今回の授業では、いかに生徒達に自然に興味を持たせて、自然を好きになってもらえるかを考えながら、笑いを誘いつつも丁寧に答えていきました。また白神の森遊山道に行きたいな、などと少しでも思ってもらえれば嬉しいです。(有本)

森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業の 現地検討会に参加

11月30日(木)、森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業の現地検討会が宮城県気仙沼市において開催され、当センターからも参加しました。

この事業は、国有林野内にモデル地区を設定し、地域の農林業関係者と連携を図りながら新技術を組み合わせた捕獲技術に取り組む事業です。



事業の概要説明

気仙沼市猟友会、宮城県等の関係者併せて53名が参加し、国有林内に設置されたICT技術を活用した簡易囲い罠、足くくり罠、誘引式首くくり罠を見学しました。

気仙沼市内では毎年600頭前後のシカの有害捕獲があり、農林業被害も多く気仙沼市鳥獣被害対策実施隊が捕獲に取り組んでいます。

今年度の取組みは、比較的シカが多い秋期の捕獲、オス個体の効率的な捕獲実施のため、足くくり罠を試験的に導入し検証しているとのことでした。



ICTを活用した簡易囲い罠



足くくり罠



誘引式首くくり罠
(学術研究捕獲での許可罠)



簡易電殺機
(捕獲後のシカを殺処理する機器)

また、地域での捕獲活動との棲み分けを検討し、狩猟者が比較的立ち入らない箇所
で実施しているとのこと。

現在まで、簡易囲い罠で1頭、足くくり罠で5頭の捕獲があったと報告されました。

その後、会場を室内に移し、GPS首輪を装着したシカの移動経路、メスジカを効
果的に捕獲するために開発された、誘引式首くくり罠でしたが、オスジカが興味を示
し罠内の餌を食べていると説明を受けました。



室内での説明会風景

白神山地周辺でもシカを目撃情報が増えていることから、この現地視察を参考に当
センターが取り組んでいる簡易囲い罠による捕獲に反映できるよう努めたいと思いま
す。(寺田)

平成 30・31 年度国有林モニターの募集について

東北森林管理局は、国有林の管理・経営に皆さまの声を役立てていくため、モニターを募集しています。

募集人員：48 名程度※各地域内の人数及び年齢・男女比等の均衡を図るため、最終的な人数と前後する場合がございます。

募集期間：平成 29 年 12 月 18 日（月）～平成 30 年 2 月 9 日（金）（当日消印有効）

任 期：平成 30 年 4 月 1 日より 2 年間

内 容：アンケートへの回答、現地見学会・国有林モニター会議への出席など
応募資格、応募方法など、詳しくは東北森林管理局のホームページをご覧ください。
か、担当までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 林野庁 東北森林管理局 企画調整課 林政推進係

TEL：018(836)2228 FAX：018(836)2031

メールアドレス：t_kikaku@maff.go.jp

ホームページ：http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/

今月の一枚

専門官 有本 実



シラコバト（2015.12.27 埼玉県 さいたま市）

白神山地の森林生態系の頂点に立つイヌワシやクマタカは、環境省のレッドリストで絶滅危惧 IB 類に指定されている希少種です。同じ IB 類の野鳥が、なんと首都圏の街中に生息している！ということで会いに行ってみました。シラコバトというその鳥は、第一印象はスマートな灰褐色の鳩、といったところ。・・・ポポーポッ・・・ポポーポッ・・・という『これぞ鳩！』という鳴き声が、童謡“鳩ぽっぽ”のモチーフになったのだとか。羽繕いし合うかわいい 2 羽に癒やされました。

〈発行〉 林野庁 東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2754 青森県西津軽郡鮎ヶ沢町大字米町 25-2 電話:0173(72)2931 FAX:0173(72)2932

